



グリップヒーターHG 取り付けについて

適合車種：ELIMINATOR (8BL-EL400A)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



警告

※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を見逃してご使用し、重大な
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●接続する前に（重要）

セット内容に不備が無いかを確認してください。
また、本説明書に記載の無い各部のボルト、
ナットの取り外し方については車両のサービス
マニュアルを参考にしてください。

●構成部品●

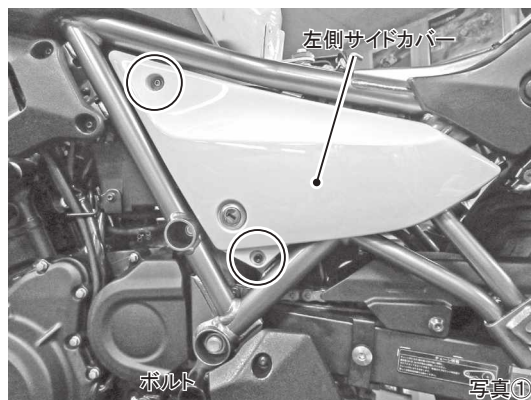
- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・電源ハーネス・・・1本
- ・メーターステー・・・1個
- ・リレー・・・1個

《注意事項》

本取り付けキットは ELIMINATOR のみに対応となっております。ELIMINATOR SE (8BL/EL400A)
用はリレーが付属していない仕様で別途、部番設定があります。

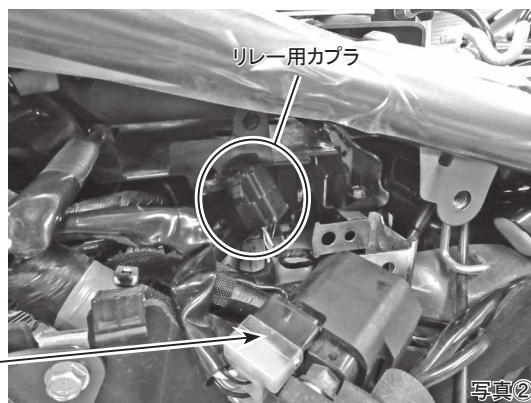
＜リレーの取り付けについて＞

1. バッテリーのマイナス端子をいったん
取り外します。その後、ボルト2本を
取り外して左側サイドカバーを取り
外します。(写真①)

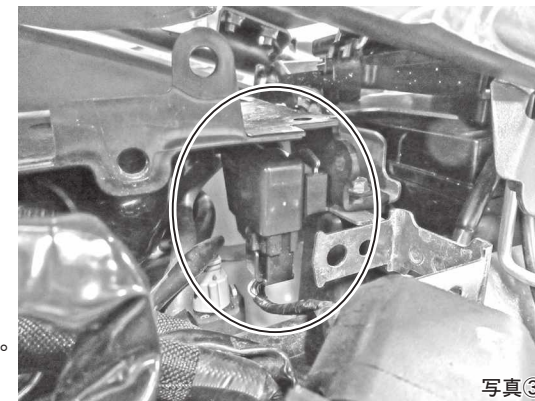


2. 手前にあるマグネティックスイッチを
いったんステーから取り外して、
奥にテープで固定されている
リレー用カブラを取り出します。
(写真②)

マグネティックスイッチ



3. 付属のリレーをカブラに取り付けて
写真のようにステーへ固定します。
(写真③)



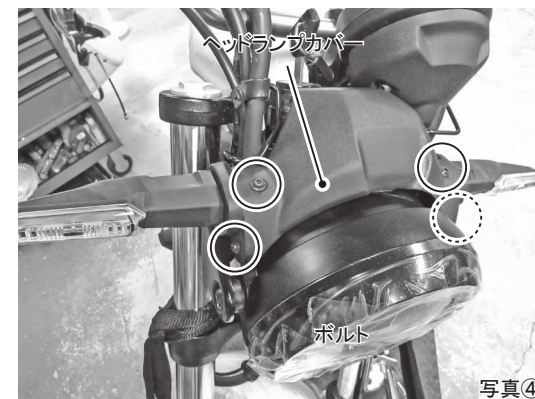
写真③

4. 取り外した逆の手順でもとに戻します。
外したバッテリー端子も接続しておきます。

《グリップヒーターの取り付けについて》

①電源ハーネスの接続

ボルトを4ヶ所取り外して、内側にある
ウインカーのカブラ接続を外してから、
ヘッドランプカバーを取り外します。
(写真④)

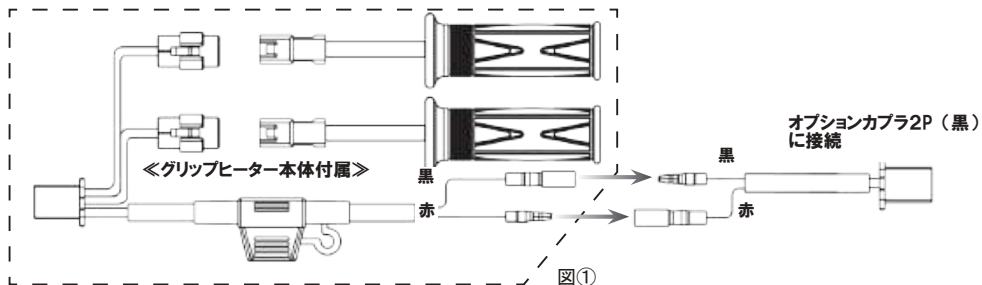


写真④

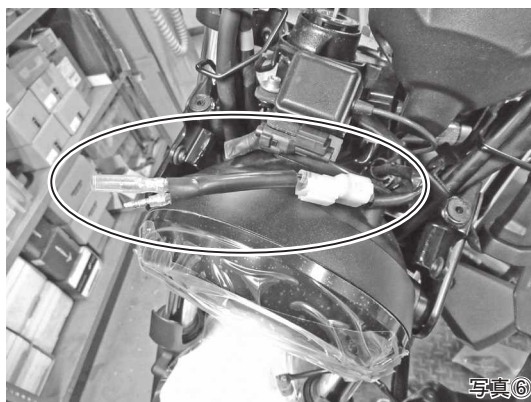
そして、ヘッドランプカバー下にある
オプションカブラの位置を確認して
おきます。(写真⑤)



写真⑤



オプションカプラーに付属の電源ハーネスを接続します。(写真⑥)
その後、図①を参考にして左右グリップ、スイッチを仮接続して、グリップヒーターの動作確認をします。
問題無く動作すれば、グリップとスイッチはいったん外します。



②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

③スイッチ部の取り付け

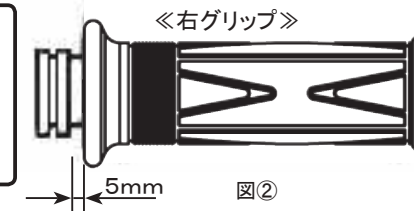
付属のステーを写真⑦のように、ミラーアダプター下にはさんで共締めします。
また、スイッチ部はハンドルを切った際にスクリーンに当たらないように調整してから両面テープで取り付けしてください。
(写真⑧)



④左右グリップの取り付け（参考例）

下記の図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。
また、右グリップはサービスマニュアルを参考に純正を取り外して付属のスロットルパイプに交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。

注意
左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。



●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないでください。(特に右側)。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

⑤配線のまとめ（参考）

左右グリップの取り付けが終わったら、車両のハーネスやスロットルケーブルなどに沿わせながら、各配線を通して接続します。配線の長さが余ってしまっている部分は結束バンドなどでうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作、レバーの操作の邪魔になっていないか、スロットル操作の邪魔になっていないかどうか確認します。



※このとき、ハーネスのカブラーやギボシ部は防水ではないので配線テープ等を巻き付けて防水処理を施してください。（写真⑩）



⑥取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにして再度、グリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、取り外したものを元に戻して取り付け完了です。

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com